学習活動例　体育 第４学年　　　　　　【学習指導要領との関連　新F(1)アイ，F(2) 現行F(1)アイ，F(3)】

|  |  |
| --- | --- |
| 題材名 | 表現運動「リズムダンス」　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　本時２／６時間 |
| 本時のねらい |  本時の授業で育成を目指すプログラミング教育の資質・能力 |
| 曲調に合った動きを考え，リズムにのって踊ることができる。 | Ｂ２：課題解決の過程で，同じことを繰り返している部分に気付き，効率的に表すこと。 |
| 【関連する資質・能力】Ｂ１：課題解決の過程で，細かく分けて順序立てたり必要な情報を組み合わせたりすること。 |
| 本時のねらいとプログラミング教育とのつながり |
| 本時の学習では，繰り返している部分を効率的に表すというプログラミングの反復の考え方を取り入れ，動きのカードを組み合わせながら，曲調に合ったダンスプログラムを考える活動に取り組む。組み合わせた動きをどのように繰り返すのかを考えて踊ることにより，本時のねらいを効果的に達成できると考える。 |
| 準備物 | カード資料（動きのカード），ワークシート（W4-2），ホワイトボード，ラジカセ，音楽データ（リズムダンス） |

|  |  |
| --- | --- |
| プログラミング教育に関する活動の流れ（45分） | ●教師の指示※教師の支援◇指導上の留意点 |
| 導入 | １　本時のめあてを確認し，体ほぐしの運動として，動きのカードのステップを練習する。 | ※動きのカードを基に，カードに書かれたステップを練習させる。 |
| 展開 | ２ ロックのリズムで踊るための動きを考える。(1)　曲を聴き，曲の特徴や変化について気付いたことをワークシートに書く。(2)　教師の手本を見て，動きの組合せや繰り返しているところを確認する。(3)　教師の動きを真似する。(4)　グループでカードを組み合わせたり，同じ動きを繰り返したりして，曲調に合わせた動きを考える。３　ロックのリズムにのって踊る。(1)　曲調に合っているか話し合い，動きを修正する。(2)　グループごとにダンスを練習する。４　ミニ発表会をする。 | ※動きのカードを順序に並べた場合と反復を使った場合を例示し，比較させることで，反復の場合の方が分かりやすく，曲調やリズムに合った踊りが容易になることに気付かせる。●「動きのカードを組み合わせ，どの部分を繰り返すと曲調に合い，踊りやすくなるかを考え，ダンスに取り組もう。」●「うまくいかないところは，カードを入れ替えたり，繰り返しの部分を変えたりしてみよう。」 |
| まとめ | ５　本時の学習を振り返る。 | ●「動きを組み合わせて，それらを何回繰り返すかを考えると，踊りやすくなりますね。動きが合わないときは，カードを入れ替えて直すことができるので，踊りの上達がはやくなりますね。」 |
| 【本時と前後する学習活動】 |
| 第１時　曲のイメージを基にした動きのカードを作成し，動きの練習をする。第２時（本時）第３時　「はじめ」と「終わり」のポーズを考え，ダンス発表会をする。 |

★ワークシート（W4-2）の解答例・使い方

体育学習カード　　　　　　　　　　　　リズムダンス　　　　　　　　　　　組　　名前

◎めあて

**曲に合った動きの組合せを考えて，リズムにのっておどろう。**

◎曲の特ちょうや変化など，気付いたことをかいてみよう。　　　　　◎曲のイメージをもとに，動きのカードを組み合わせたり，繰り返したりしてダンスプログラムを考えてみよう。

**・元気がいい。**

**・のりがいい。**

**・楽しい感じがする。**

**・曲の感じが途中で変化する。**

|  |  |
| --- | --- |
| おわりはじめ | **２回くり返す****足を開く（左右）****足を開く（前後）****しゃがむ****２回くり返す****ジャンプ**ホワイトボードにカードを貼らせたり，新たに考えたステップを書かせたりする等，児童の実態に合わせて記入させる。**ターン（左）****２回くり返す****手をたたく****２回くり返す****手をたたく****ターン（右）** |

◎動きのカードの例

－　情報教育　補９　－

ジャンプ

くり返すところは，下のように書いて，分かるようにしよう！

しゃがむ

足を開く（前後）

足を開く（左右）

手をたたく

ターン（右）

（　）回くりかえす

ターン（左）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　◎今日の活動をふり返り，学んだことを書こう。

キック

**同じ動きを繰り返していた部分を，繰り返しのカードを使って分かりやすく表すことができた。そうすることで，おどりやすくなって，リズムにのっておどることができた。**